

# 九条医療者の会かごしま



九条医療者の会かごしま事務局

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目 22-18

電話:070-5417-1302 FAX:0995-45-4938

<http://9joiryokagoshima.web.fc2.com/index.htm> E-mail: [a-lopas@po.synapse.ne.jp](mailto:a-lopas@po.synapse.ne.jp)

## ■戦争をしなくてすむ世界をつくる方法

### 田中優講演会に100名が参加

—第4回総会には、25名の会員が参加、  
次年度の活動に向けた意見を交わす—

8月8日、「九条医療者の会かごしま」の第4回総会と「田中優講演会」を鹿児島市よかセンターで開催しました。医療関係者、高校生、一般の方を含め100名が参加。

未来バンク事業組合の田中優さんは、戦争が起こる原因は、何か、自然エネルギーにシフトするために100年後のエネルギー社会を展望し、政策を立てる欧米社会…CO2を出しているのは166事業所・20社で40%という現実など、平和と環境の処方箋を分かりやすく語っていただきました。

また、「今、世界中で民族紛争問題がエネルギー資源を起因としている」こと、「知らないうちに私たちの銀行預金が戦争に使われている」等々、目から鱗が落ちるような事実を知らされました。

憲法九条を持っている国民として平和に対して何ができるのか、何をしないといけないのか、多くの示唆をいただき、大変元気の出る講演会となりました。

総会では、松下敏夫世話人を代表世話人に選出するとともに、役員（世話人、監事、顧問）を選出しました。

09年8月9日「南日本新聞」

9条医療者の会  
鹿児島市で講演  
鹿児島県内の医師・  
歯科医師・看護師らで  
つくる「九条医療者の  
会かごしま」が8日、  
鹿児島市の市勤労者交  
流センターで、公開講  
演会を開いた。医療関  
係者や高校生ら約10  
0人が参加。環境問題  
や戦争がなくなるシス  
テムについて認識を深  
めた。

石油や天然ガス、バイ  
オエタナなどエネルギー  
に開拓する地域で起  
こっている指摘し、  
「石油社会から自然エ  
ネルギー社会へ変わる  
と、石油をめぐった戦  
争や原発がなくなる」と訴えた。  
参加者は具体的な  
数値を示し地球温暖  
化の説明や、新しい形  
態の市民バンクのあり  
方などに真剣に聞き入  
った。また、会場では高  
校生6人が核兵器廃絶  
を訴える「高校生1万  
人署名」も呼びかけた。

#### 九条医療者の会かごしま公開講演を聴講して 中村 教子 (会員/内科医)



講演中の田中優さん

土曜日の夕刻、仕事を終え大慌てで講演会場に向いましたが、到着してみると開演までにまだ間があり思い違いをしていたことに気が付きました。途端に疲労と安堵感が一緒になり思考停止に近い状態、これはまずいと思いましたが、講演が始まると間もなく眠気などは吹き飛んでしまいました。それほど、田中氏のお話は新鮮で鮮烈な印象を持ち、その言葉に秘められた熱意に私は感動を覚えました。

知らないうちに私達のお金が戦争に使われていた、要するに私達は知らないうちに戦争に資金援助をしていた！ 原油や天然ガス、そのようなエネルギー資源が戦争を生み出す — 今も世界各地でおきている紛争や戦争は、その裏にエネルギー資源をめぐる国と国、民族と民族間の確執が隠されている！ 環境破壊、地球温暖化を回避して行く方法の提案、そして100年先の地球のエネルギー源は何であるかを考えよう！ 戦争と環境問題等々、田中氏は一時間余りに亘り、息をつく間もないほどの弁舌を振るわれました。

お話の間中、驚きと興奮とで胸が一杯になりました。スライドに次々と映し出される戦争の悲惨な映像を目にし、平和な国でぬくぬくと生きていることに良心の呵責を感じた瞬間もありました。が、田中氏の講演を聴き最後に心に残ったことは、『地球上から戦争をなくし、世界中の人が皆、平和に共存できる方法があるはずだ』という言葉でした。その言葉に希望を託し、世界平和ということに想いを馳せながら会場を後にしました。

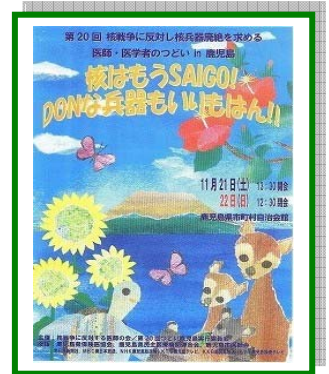
戦争では平和を守れないことを人類の歴史が教えています。日本国憲法第九条を護る運動がさらに広がり、その理念がひいては国際平和につながることを祈りたいと思います。



熱心に聞き入る参加者

- ・大切な事を教えてもらった。
- ・まさに「目からうろこ」！ 自ら動く必要性を強く感じました。地域活性化の方策としても有益な内容でした。ありがとうございました。
- ・知らない事のこわさ。知ってからどう行動に結び付けていけるか。
- ・戦争に反対しない環境保護の運動は無意味だということは、全く同感です。私たちの運動のベクトルも田中さんの助言通り、チェンジすることが大切ですね。市民が主人公のまちづくりの視点をどう具体化できるかヒントをいただきました。ありがとうございました。
- ・日本人の貯金、預金が世界で人殺しののためにつかわれている事実にショックを受けました。
- ・「あとで後悔しない政策」 理論的根拠としてそうだなと思いました。エネルギーについての考え方が大きく変わりました。
- ・「お金に意志」を持たせるという言葉に考えさせられました。普段の生活でこれからお金の使い方を考えると思います。
- ・家庭のライフスタイルの問題が一番ではなく、産業、企業の責任が大きいことデータを基にした話で説得力があった。

- ・お金の価値… 自分の生き方が、世界のお金の流れに影響をあたえていること。もうけのために殺されてしまう市民。大変にわかりやすいお話だったと思います。
- ・本当のエコから平和がうまれる。また、社会がかえられると、少し明るい希望があると思えました。
- ・戦争をしなくてもすむ方法を、これまでとは逆転の発想で知ることができた。環境政策では、世界の中で日本が遅れている理由がわかった。
- ・知らなかった事ばかりで、目が点でした。私の子どもたちが大人になり、高齢者になった時のための環境を考えてお金を使うことは、我が子の為でもあり、地球のためであり、平和のためであると思いました。私たちのお金が、私たちの地球の現状を作っている1つの歯車となっていることを本当に初めて知ったように思います。
- ・大きな視野でみて、なりたいことを思いえがき、発想を転換して活動することの大切さを学びました。人にあたったかい、やさしい考え方だと思えます。
- ・現実の世界を変えていくために、お金の流れの仕組みまで考えて動けるようになるのはカッコいいことだと思います。自分もそうなりたいと思いました。



## お知らせ

### 九条の会 かごしま

#### ○「日本国憲法公布63周年記念講演」

講師：伊藤 真さん(伊藤塾塾長)

・とき：2009年11月3日(火)14:00～

・ところ：鹿児島県建設センター

(鹿児島市鴨池新町)

#### ○ 世話人会討議事項

- 1) 総会・記念講演会の総括
- 2) 来年度総会・講演会の選定の進め方について(日程、講師など)
- 3) その他の活動について

\*2010年の会場候補として、よかセンター多目的ホールを7月25日(日)午前と8月21日(土)夜で仮押さえをしました。

ご意見ご要望を事務局までお寄せ下さい。

### ■第20回核戦争に反対し核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい in 鹿児島

・11月21日(土)13:30～

「核兵器のない世界へ向けて」

◇黒澤 満氏(大阪女子学院大学教授)

15:30～【特別講演】

「核兵器は究極の疫病～半世紀を経てなお持続する原爆の人体影響～」

◇朝長万左男氏(日赤長崎原爆病院院長)

・11月22日(日)9:00～

「平和・憲法・核問題を考える一いまできること」シンポジウム

・ところ：鹿児島県市町村自治会館 4Fホール

☆参加希望・問い合わせ先は、「つどい実行委員会」担当：岩切さん  
TEL099-266-1531、FAX099-266-1530  
まで(11月でも申し込み可能です)

◀編集後記▶ 朝夕、過ごしやすい季節となりました。政治は、政権交代により新しく動きが出てきそうですが、平和や環境など社会運動の力によって新政権にどこまで実行させることができるか、これが政権の行方を占う最初の試金石となるのではないのでしょうか。

「九条医療者の会かごしま」のニュースをリニューアルしました。会のホームページもアップしました。ぜひ、アクセスしてみてください。最新情報を掲載していきます。情報やご意見をメールでお知らせ下さい。(T)